

地域計画

策定年月日	令和7年2月27日
更新年月日	2026/3/ (第2回目)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	郡山市 07203
地域名 (地域内農業集落名)	大槻地区 (新町、上町、殿町、胡桃沢、南原、下大谷、滑河内、大橋、向山、矢地内、横山、 中ノ平、福楽沢、清水内、室ノ木、太田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	522.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	522.7 ha
② 田の面積	466.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	54.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	28.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	129.3 ha
(参考)区域内における80才以上の農業者の農地面積の合計	100.4 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

大槻地区は、農業者の平均年齢67.57歳と高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。

このため、分散する担い手の農地を集約するとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

- ・大規模で行う農家の農地が分散されている。
- ・郡山スマートインターもあり交通の利便性が良い。
- ・持続的に営農できるような環境整備として、基盤整備の活用を検討したい。
- ・住宅近辺の遊休農地は活用を地域で検討する必要がある。
また、住宅近辺の農地は農作業時に物音を立てにくい傾向がある。
- ・鳥害(カラス、ハト、スズメ)被害や小型動物(ハクビシン、タヌキ)の被害がある。
- ・用水路の堀払い等の作業が困難になってきている。また、草刈りをしていない農地も増えてきている。
- ・南西部地区(安積、三穂田、逢瀬、片平)の農業の連携拠点としても、人やものの交流など検討する必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:281人(うち50歳代以下41人) ※農林業センサス2020より

団体経営体(法人・集落営農組織等) 12経営体

主な作物:水稲、露地野菜、施設野菜(キュウリ)、果樹(イチジク)、畜産(肉用牛)、キノコ類 等

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者や新たな担い手の確保を図るとともに、可能な限り用水系毎に担い手へ農地をまとめるなど、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、稲作のみに頼らない複合化を目指すことや、ブランド化を図ること、6次化製品の開発すること等の当地区の特色を出す取組みを行うことを積極的に検討し、PR方法(品評会等)による付加価値をつけること等について、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

なお、大槻町は交通アクセスが良いことから市外地への販路拡大することや、近くに直売所もあることから直売所向けの野菜を生産・販売することも地域として考えていき、積極的に所得向上を図る方法を地域で話し合っていく。

- ・住宅近辺の活用がされていない遊休農地については、利活用を地域で検討していきたい。
- ・住宅地に近い守るべき農地については、農作業音がクレームとなることがあるため、協議の場に区長等呼び込み、近隣住民の方に理解を頂きながら、作業がし易い環境を整えていきたい。そうすることで異常気象時に早朝からも作業が可能となるため、農地の維持が可能となりえる。
- ・用水路の堀払いについては、地域内農業者のみならず、土地所有者など近隣住民も参加頂き、地域で維持を図っていきけるよう、定期的な話合いによって地域の方に理解を頂きながら地域で農地を守っていく。
- ・鳥や小型動物の被害減少に向け、他地区でラジオ等を流すことで音による対策を講じていることもあり、住宅地に近いこともあるが、地域住民の理解を頂きながら、労力をかけず農業を維持できるような取組みを少しずつ図っていききたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率 80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
令和11年度 団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。 また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。
(3) 基盤整備事業への取組
基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを積極的に検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていきける環境を整えていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
農地を次の世代に引き継げるよう、地区内で話合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、地域ぐるみで技術などの支援をしていく。集落内農業者だけでは農地の保全是難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。 また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農業支援サービス事業者等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

認定新規就農者等地域内の後継者の育成や、機械の共同利用なども積極的に検討していくことや、地域内で法人を設立することで後継者や新たな担い手の確保を図るとともに、可能な限り用水系毎に担い手へ農地をまとめるなど、担い手への農地集約化のため、農業を担う者への農地再分配を進めることができるよう、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

また、地域の所得向上等の観点から、地域の話合いにより、稲作のみに頼らない複合化を目指すことや、ブランド化を図ること、6次化製品の開発すること等の当地区の特徴を出す取組みを行うことを積極的に検討し、PR方法(品評会等)による付加価値をつけること等について、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

なお、大槻町は交通アクセスが良いことから市外地への販路拡大することや、近くに直売所もあることから直売所向けの野菜を生産・販売することも地域として考えていき、積極的に所得向上を図る方法を地域で話し合っていく。

- ・住宅近辺の活用がされていない遊休農地については、利活用を地域で検討していきたい。
- ・住宅地に近い守るべき農地については、農作業音がクレームとなることがあるため、協議の場に区長等呼び込み、近隣住民の方に理解を頂きながら、作業がし易い環境を整えていきたい。そうすることで異常気象時に早朝からも作業が可能となるため、農地の維持が可能となりえる。
- ・水路の堀払いについては、地域内農業者のみならず、土地所有者など近隣住民も参加頂き、地域で維持を図っていけるよう、定期的な話合いによって地域の方に理解を頂きながら地域で農地を守っていく。
- ・鳥や小型動物の被害減少に向け、他地区でラジオ等を流すことで音による対策を講じていることもあり、住宅地に近いこともあるが、地域住民の理解を頂きながら、労力をかけず農業を維持できるような取組みを少しずつ図っていききたい。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めつつ、担い手(認定農業者、認定新規就農者、農業法人、集落営農法人)への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	39.5	%	将来の目標とする集積率	80	%
--------	------	---	-------------	----	---

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

令和11年度 団地面積の拡大を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地域の農業を担う者に農地の集積・集約化をすすめ、団地面積の拡大を進めるとともに、農作業の省力化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地区内の農地所有者が離農するなどの場合には農地中間管理機構等を活用し、機構に貸付を進めていく。 また、農業を担う者が何らかの事情により営農の継続が困難になった場合には農地中間管理機構の機能を活用して、新たな受け手へ農地の貸付を進め、農地が荒廃しないよう努めていく。
(3)基盤整備事業への取組
基盤整備未実施の地区は、借り手がなく農地の遊休化が進んでいるため、将来に向けてほ場整備等の取組みを積極的に検討していく。多面的機能支払組織も活用し、農道・用排水路等の維持管理等を継続していき、担い手が効率的な農作業を行っていきける環境を整えていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農地を次の世代に引き継げるよう、地区内で話し合いの場を定期的に持ち、地区内の新規就農者・後継者・定年帰農者などの担い手等情報の共有を図るほか、地域ぐるみで技術などの支援をしていく。集落内農業者だけでは農地の保全是難しいと判断した際には、集落外からの入作者について農業を担う者に加えていき、地域ぐるみで技術などの支援を行うとともに、担い手確保・育成に努める。 また、農業用機械や施設等の導入、更新等の際には補助事業等を活用するとともに、機械の共同利用なども積極的に検討していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農業支援サービス事業体等へ委託できる作業で可能なものがあれば順次委託することを検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害が拡大しないよう防止柵等を設置に向け行政と連携し検討するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制構築を行うことや点検マップの作成を行い、遊休農地の解消に努める。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ②ブランド化等による農産物の付加価値向上を図るとともに、SDGs推進のため、有機農業や減農薬・減化学肥料栽培等に取り組んでいく。
- ⑦⑧既存の多面的機能支払組織等の活動を継続することにより、農道、用排水路等の維持管理と休耕地等の草刈りなどの作業を行い、遊休農地の発生の防止を図る。また、水害等の対策のため、堀払いを定期的実施するなど防災意識の徹底を図る。
- ⑨耕畜連携(循環型農業)について、地域内で積極的にSDGs等の取組みを進めていく。
- ⑩住宅地寄りの農地については、騒音対策等の特有の課題があり地域の理解を頂きながら取組みができないと、現状農地の維持すら困難であるため、定期的な話し合いを実施していく。

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和11年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 A	稲作+野菜+花き	2.2 ha	ha	稲作+野菜+花き	3.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
2	認農 B	稲作+施設野菜	0.7 ha	ha	稲作+施設野菜	0.7 ha	ha	地区毎に凡例記載	
3	認農 C	稲作	0.5 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
4	認農 D	稲作	0.8 ha	ha	稲作	3.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
5	認農 E	稲作	1.1 ha	ha	稲作	4.7 ha	ha	地区毎に凡例記載	
6	認農 F	稲作	1.1 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
7	認農 G	稲作+露地野菜+施設	5.4 ha	ha	稲作+露地野菜+施設	5.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
8	認農 H	稲作	3.8 ha	ha	稲作	6.8 ha	ha	地区毎に凡例記載	
9	認農 I	稲作	2.2 ha	ha	稲作	2.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
10	認農 J	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
11	認農 K	稲作	1.0 ha	ha	稲作	3.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
12	認農 L	稲作	1.1 ha	ha	稲作	1.6 ha	ha	地区毎に凡例記載	
13	認農 M	稲作	4.3 ha	ha	稲作	4.7 ha	ha	地区毎に凡例記載	
14	認農 N	稲作	2.4 ha	ha	稲作	7.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
15	認農 O	稲作	3.0 ha	ha	稲作	6.0 ha	ha	地区毎に凡例記載	
16	認農 P	稲作	1.5 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
17	認農 Q	稲作	2.4 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
18	認農 R	稲作	2.5 ha	ha	稲作	8.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
19	認農 S	稲作	2.8 ha	ha	稲作	0.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
20	認農 T	稲作	0.2 ha	ha	稲作	4.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
21	認農 U	稲作	1.7 ha	ha	稲作	2.6 ha	ha	地区毎に凡例記載	
22	認農 V	肉用牛	1.0 ha	ha	肉用牛	1.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
23	認農 W	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
24	認農 X	稲作+施設野菜	1.5 ha	ha	稲作+施設野菜	1.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
25	認農 Y	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
26	認農 Z	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
27	認農 AA	稲作	0.0 ha	ha	稲作	2.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
28	認農 AB	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
29	認農 AC	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
30	認農 AD	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
31	認農 AE	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
32	認農 AF	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
33	認農 AG	稲作	0.0 ha	ha	稲作	3.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
34	認農 AH	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
35	認農 AI	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
36	認農 AJ	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
37	認農 AK	稲作	0.6 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha	地区毎に凡例記載	
38	認農 AL	稲作	0.0 ha	ha	稲作	4.8 ha	ha	地区毎に凡例記載	
39	認農 AM	露地野菜	1.3 ha	ha	露地野菜	1.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
40	認農 AN	その他作物(栽培キ)	0.0 ha	ha	その他作物(栽培キ)	1.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
41	認農 AO	稲作+肉用牛(繁殖)	3.7 ha	ha	稲作+肉用牛(繁殖)	30.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
42	認農 AP	稲作	0.0 ha	ha	稲作	26.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
43	認農 AQ	稲作	6.5 ha	ha	稲作	10.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
44	認農 AR	稲作	0.3 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
45	認農 AS	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
46	認農 AT	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	8.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
47	認農 AU	露地野菜	0.3 ha	ha	露地野菜	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
48	認農 AV	稲作+雑穀・いも類	2.8 ha	ha	稲作+雑穀・いも類	5.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
49	利用者 AW	稲作	3.2 ha	ha	稲作	4.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
50	利用者 AX	稲作+施設野菜	0.0 ha	ha	稲作+施設野菜	0.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
51	利用者 AY	稲作	1.9 ha	ha	稲作	0.7 ha	ha	地区毎に凡例記載	
52	利用者 AZ	稲作	2.4 ha	ha	稲作	4.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
53	利用者 BA	稲作	1.0 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha	地区毎に凡例記載	
54	利用者 BB	稲作+和牛繁殖	0.9 ha	ha	稲作+和牛繁殖	1.7 ha	ha	地区毎に凡例記載	
55	利用者 BC	稲作	2.1 ha	ha	稲作	2.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
56	利用者 BD	稲作	0.6 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
57	利用者 BE	稲作	2.7 ha	ha	稲作	3.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
58	利用者 BF	稲作	2.0 ha	ha	稲作	4.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
59	利用者 BG	稲作	2.0 ha	ha	稲作	1.7 ha	ha	地区毎に凡例記載	
60	利用者 BH	稲作	1.2 ha	ha	稲作	1.2 ha	ha	地区毎に凡例記載	
61	利用者 BI	稲作	1.4 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
62	利用者 BJ	稲作	0.0 ha	ha	稲作	1.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
63	利用者 BK	稲作	3.9 ha	ha	稲作	3.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	

64	利用者	BL	稲作	0.0 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
65	利用者	BM	稲作	0.9 ha	ha	稲作	1.0 ha	ha	地区毎に凡例記載	
66	利用者	BN	稲作	0.6 ha	ha	稲作	0.6 ha	ha	地区毎に凡例記載	
67	利用者	BO	稲作	0.2 ha	ha	稲作	0.9 ha	ha	地区毎に凡例記載	
68	利用者	BP	施設野菜+露地野菜	0.6 ha	ha	施設野菜+露地野菜	0.6 ha	ha	地区毎に凡例記載	
69	利用者	BQ	肉用牛	0.0 ha	ha	肉用牛	0.0 ha	ha	地区毎に凡例記載	農地なし
70	利用者	BR	稲作	4.4 ha	ha	稲作	5.5 ha	ha	地区毎に凡例記載	
71	利用者	BS	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.8 ha	ha	地区毎に凡例記載	
72	利用者	BT	稲作	1.1 ha	ha	稲作	0.3 ha	ha	地区毎に凡例記載	
73	利用者	BU	稲作	1.4 ha	ha	稲作	1.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
74	利用者	BV	稲作	1.1 ha	ha	稲作	3.0 ha	ha	地区毎に凡例記載	
75	利用者	BW	稲作	2.3 ha	ha	稲作	2.6 ha	ha	地区毎に凡例記載	
76	利用者	BX	稲作	1.3 ha	ha	稲作	0.8 ha	ha	地区毎に凡例記載	
77	利用者	BY	稲作	1.2 ha	ha	稲作	2.0 ha	ha	地区毎に凡例記載	
78	利用者	BZ	稲作	3.9 ha	ha	稲作	3.8 ha	ha	地区毎に凡例記載	
79	利用者	CA	稲作	0.1 ha	ha	稲作	0.1 ha	ha	地区毎に凡例記載	
80	利用者	CB	稲作+露地野菜+施	0.0 ha	ha	稲作+露地野菜+施	0.8 ha	ha	地区毎に凡例記載	
81	利用者	CC	稲作	0.4 ha	ha	稲作	0.4 ha	ha	地区毎に凡例記載	
82				ha	ha		ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

目標地図の見方

「目標地図」は、地域計画の中で「農業を担う者」として位置付けられた方が、将来（おおむね10年後）、具体的にどの農地を耕作する見込みなのかを、地図で表したものです。

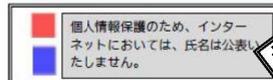
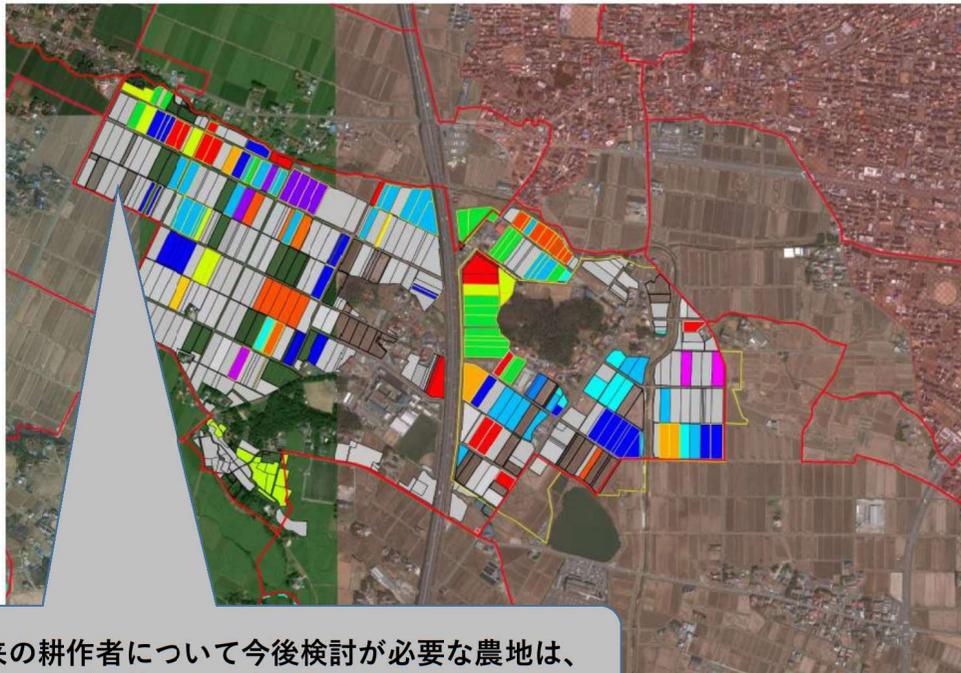
地図は、人・農地プランまたは農業集落単位で作成しています。

地域計画上の「農業を担う者」の氏名と、地図上の色を示しています。
枠の色は、地図上の農地の枠線の色を表しています。

※農業を営んでいても、地域計画上の「農業を担う者」になっていない方の氏名は、記載されておりません。

※枠囲みは、地図の作成作業の過程でランダムに決定しており、何らかの基準等によりグループ分けしたものではありません。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0106	大槻町	【プラン】大槻町山下	2024/12/27



枠線が黒色の農地

枠線が黄色の農地

枠線が白色の農地

将来の耕作者について今後検討が必要な農地は、着色されず、枠のみの表示となっています。

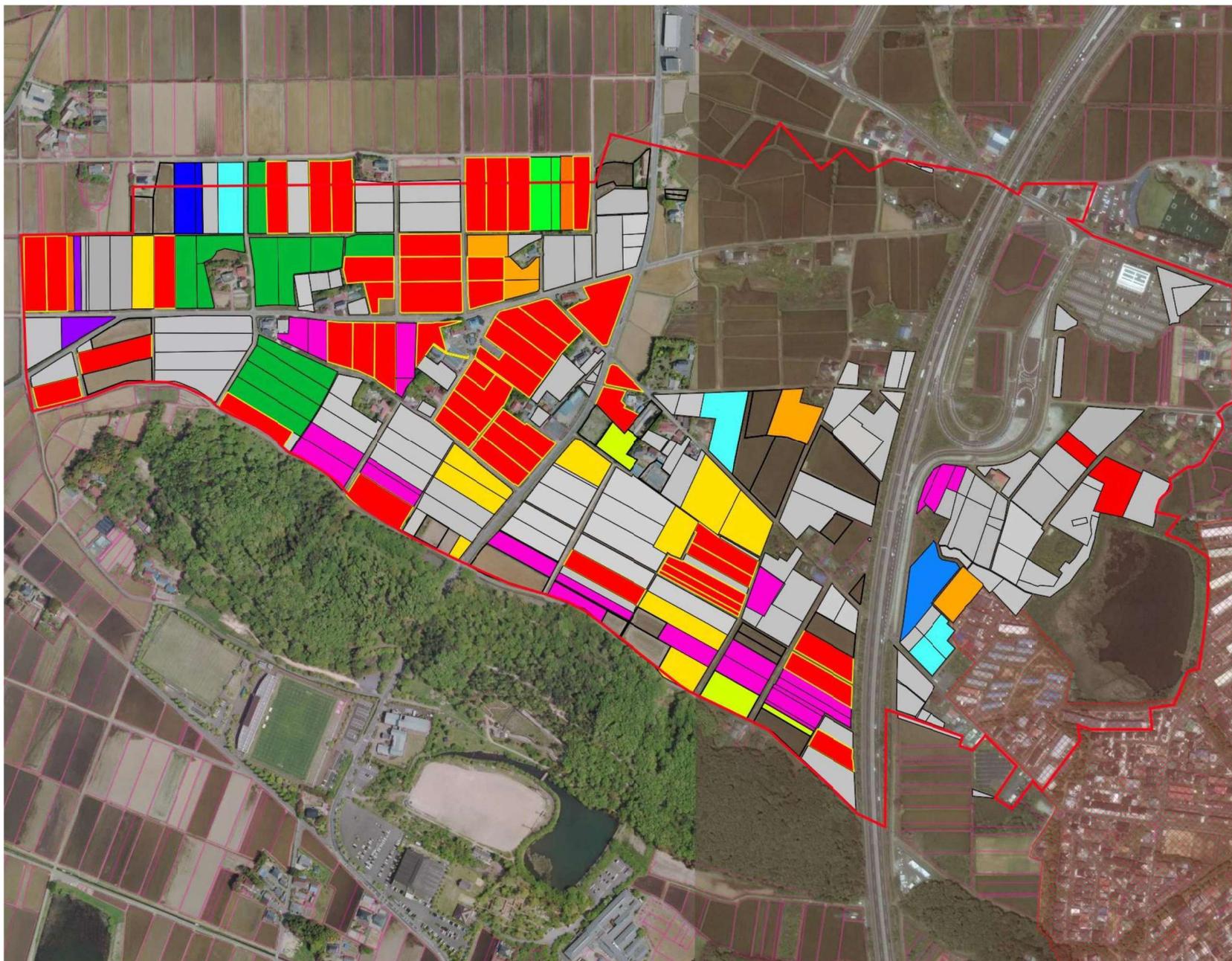
上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地域計画上の「農業を担う者」になっていない農業者の方が耕作予定の農地は、グレー（灰色）で表示しています。

二重線の枠は、地図上の農地の枠が白色の農地を表しています。

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0101	大槻町	【プラン】大槻町中ノ平（旧市）	2026/1/30



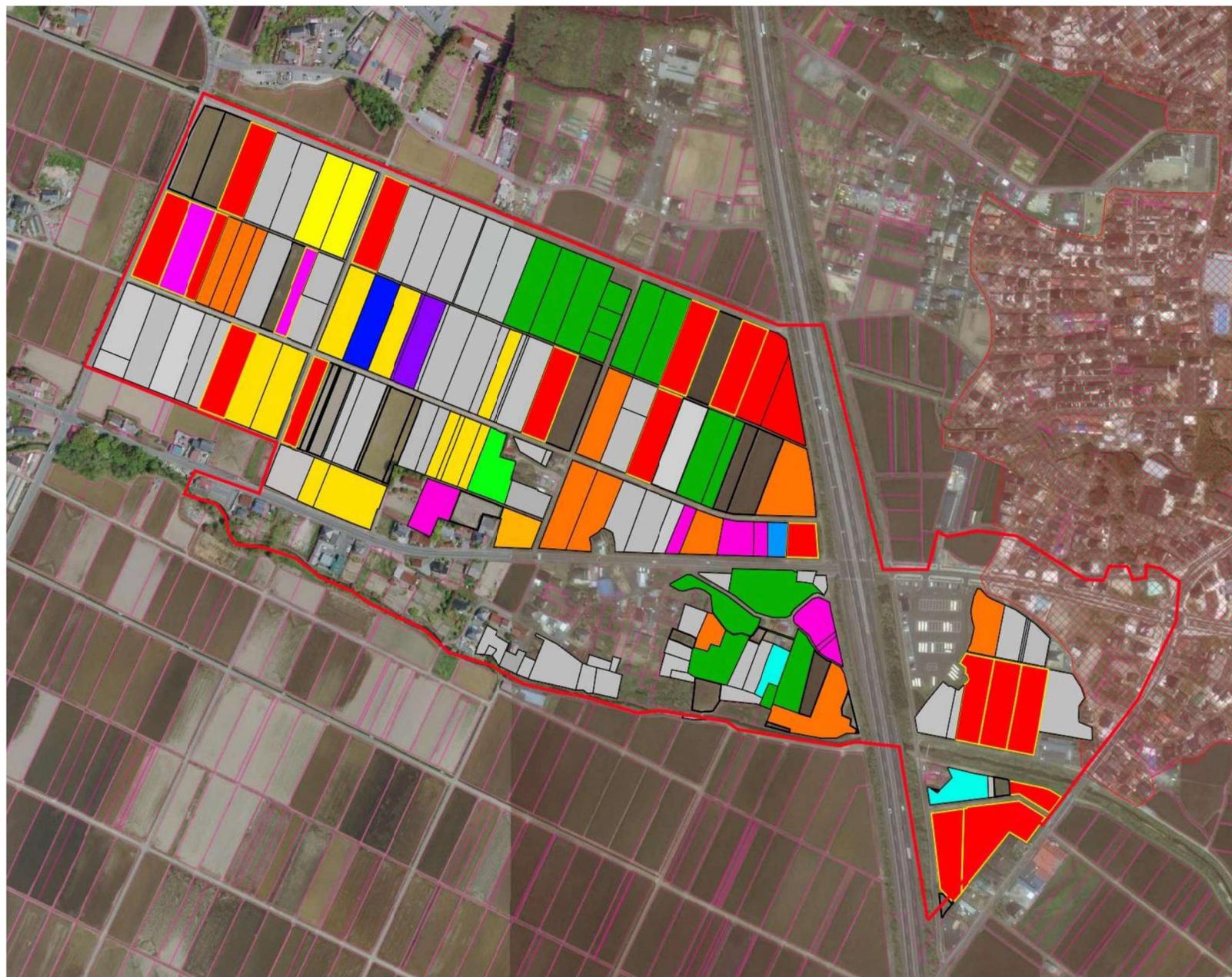
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、イ

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0103	大槻町	【集落】大槻町_001_新町	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

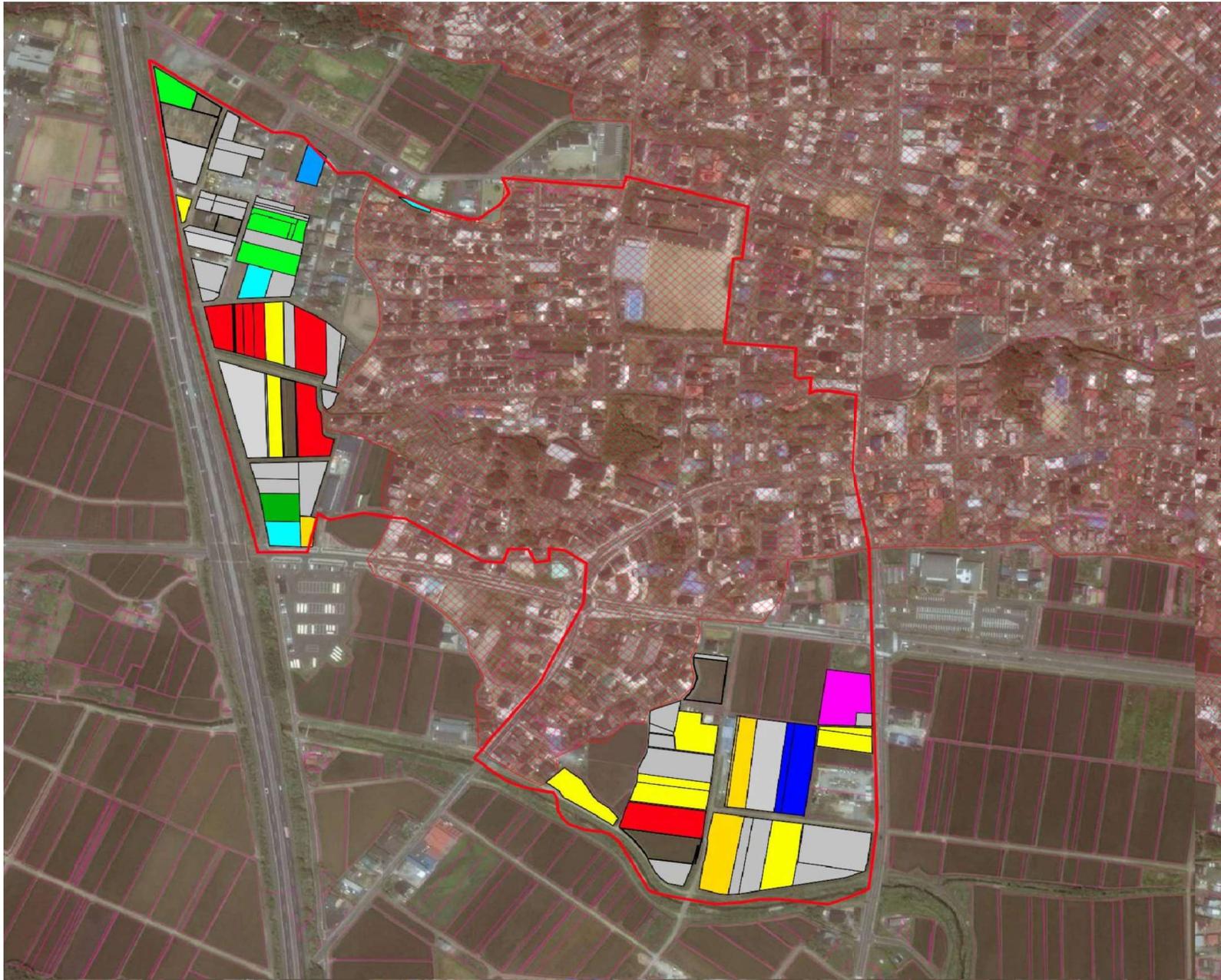
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

-
-

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0104	大槻町	【集落】大槻町_002_上町	2026/1/30

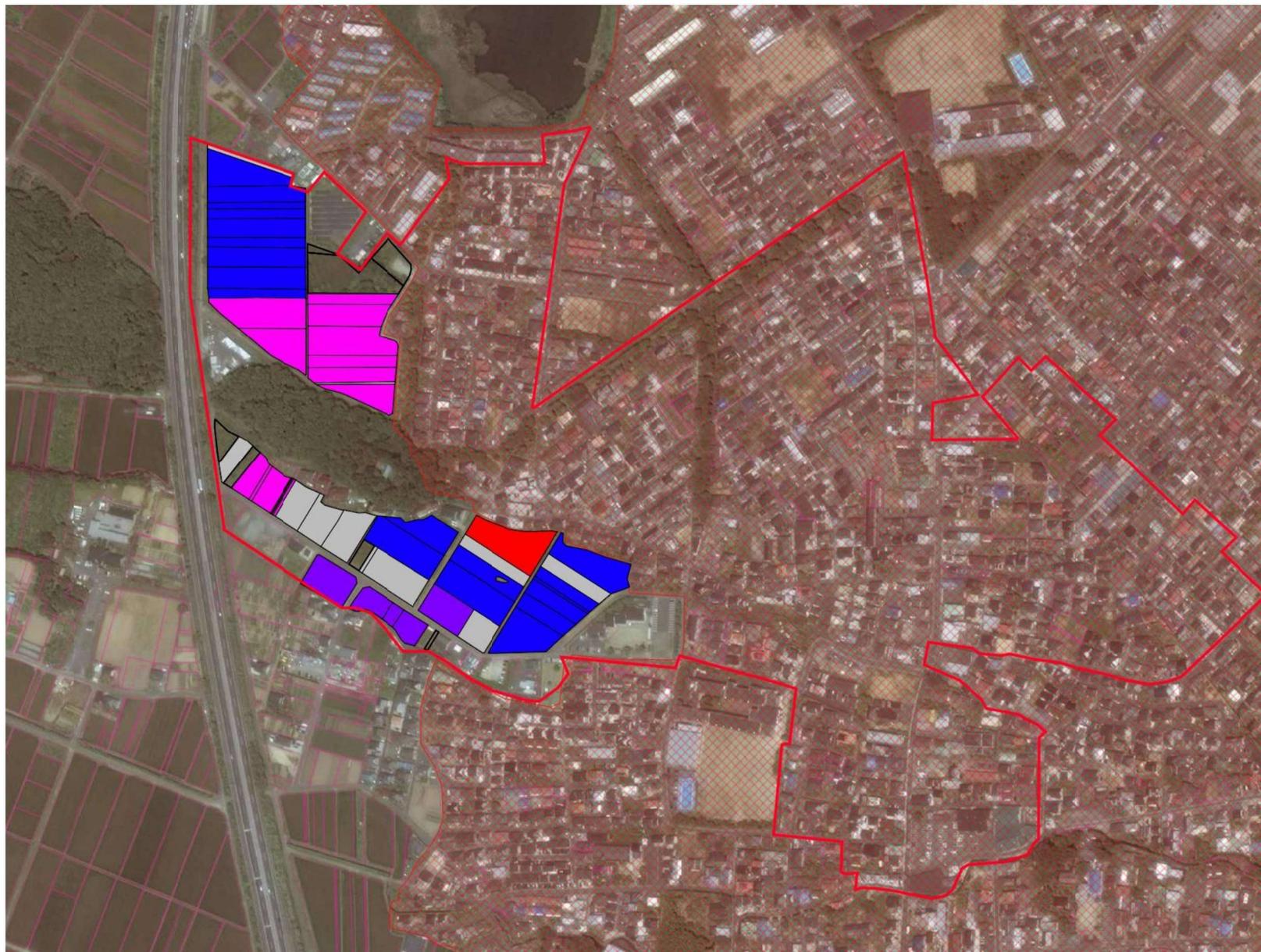


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0105	大槻町	【集落】大槻町_004_殿町	2026/1/30

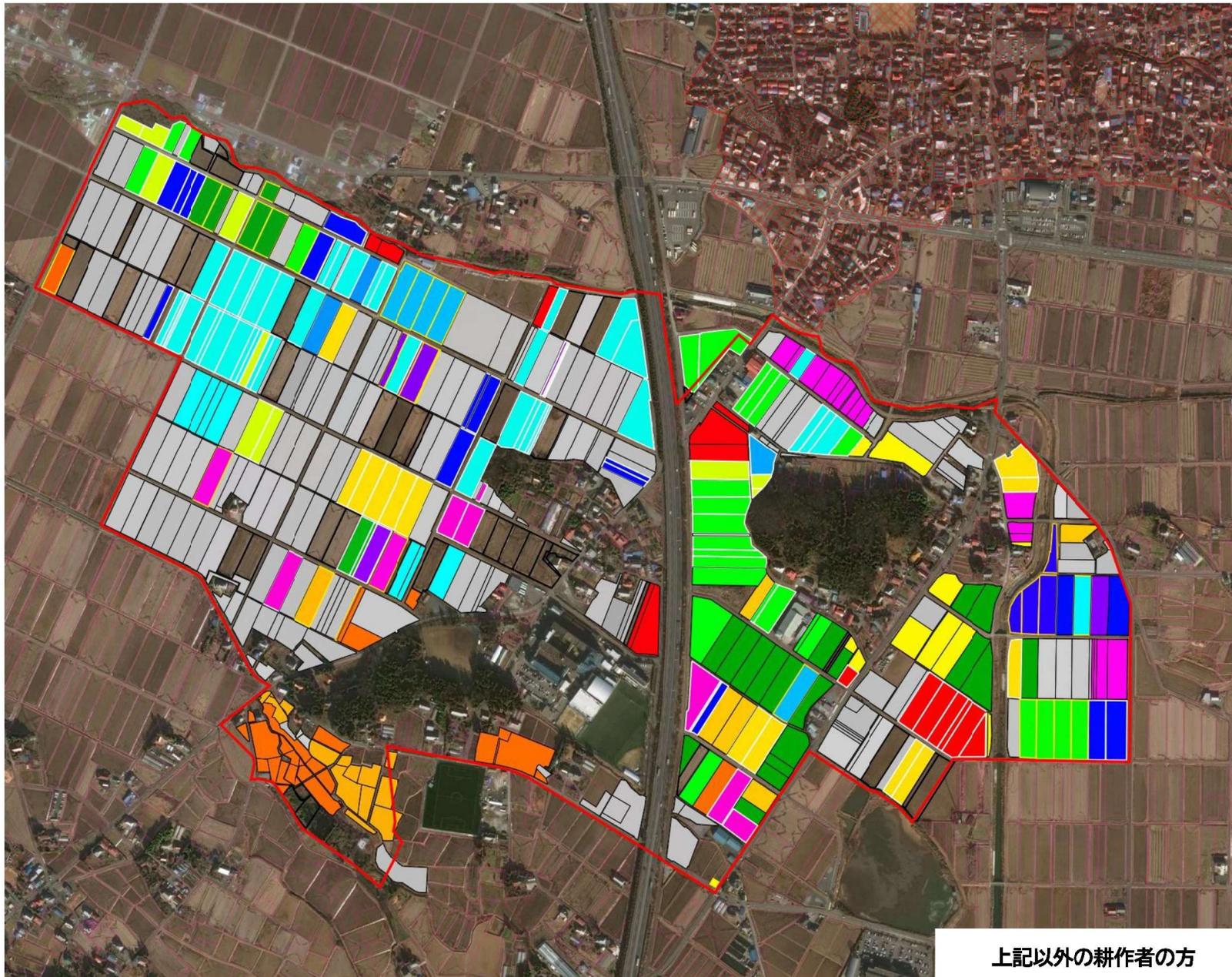


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0106	大槻町	【プラン】大槻町山下	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

Red, Pink, Purple, Blue, Cyan, Green, Yellow, Orange color swatches.

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

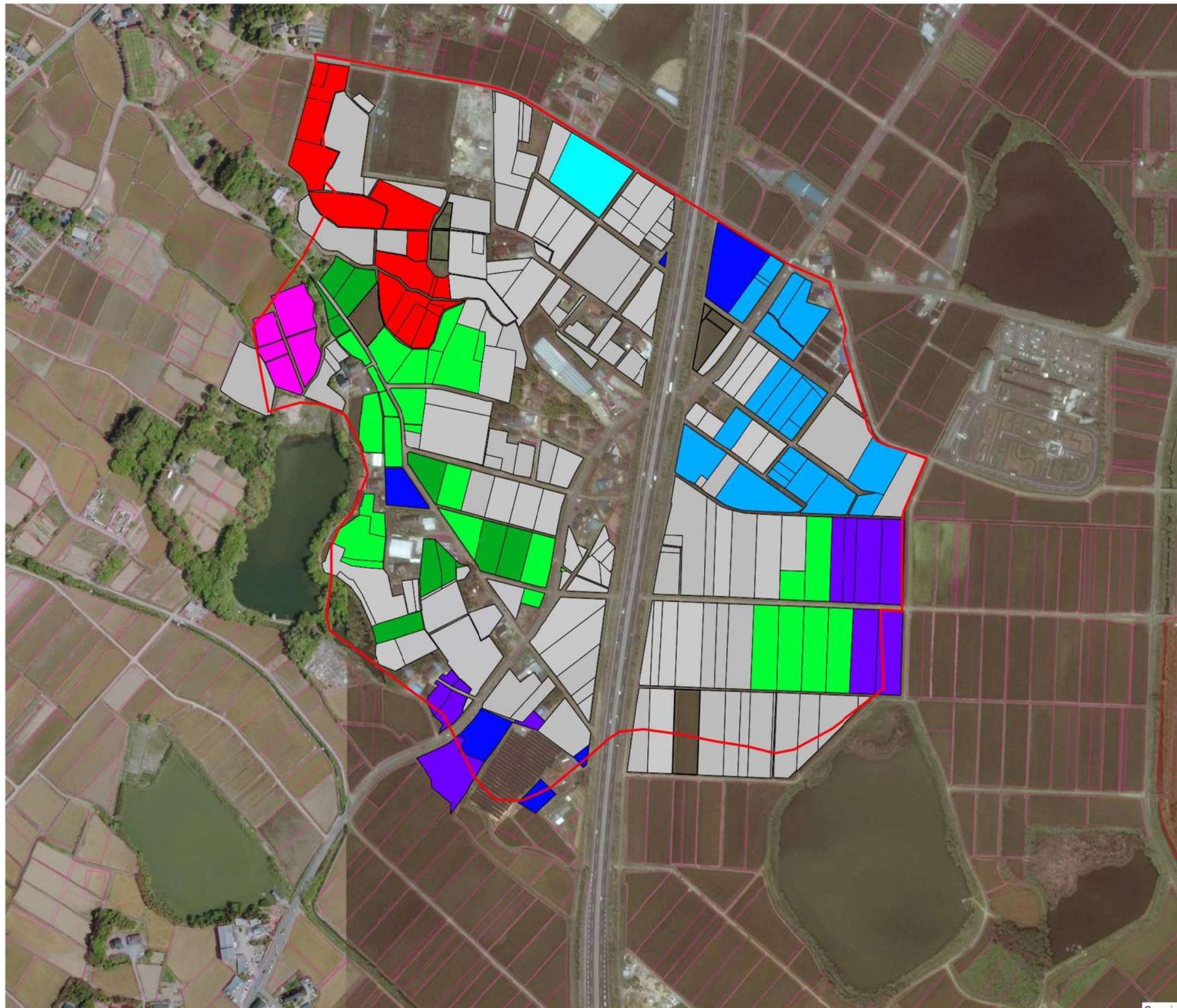
Red, Pink, Purple, Blue, Cyan, Green, Yellow, Orange color swatches.

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

Red, Pink, Purple, Blue, Cyan, Green, Yellow color swatches.

上記以外の耕作者の方
※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0107	大槻町	【集落】大槻町_006_南原	2026/1/30

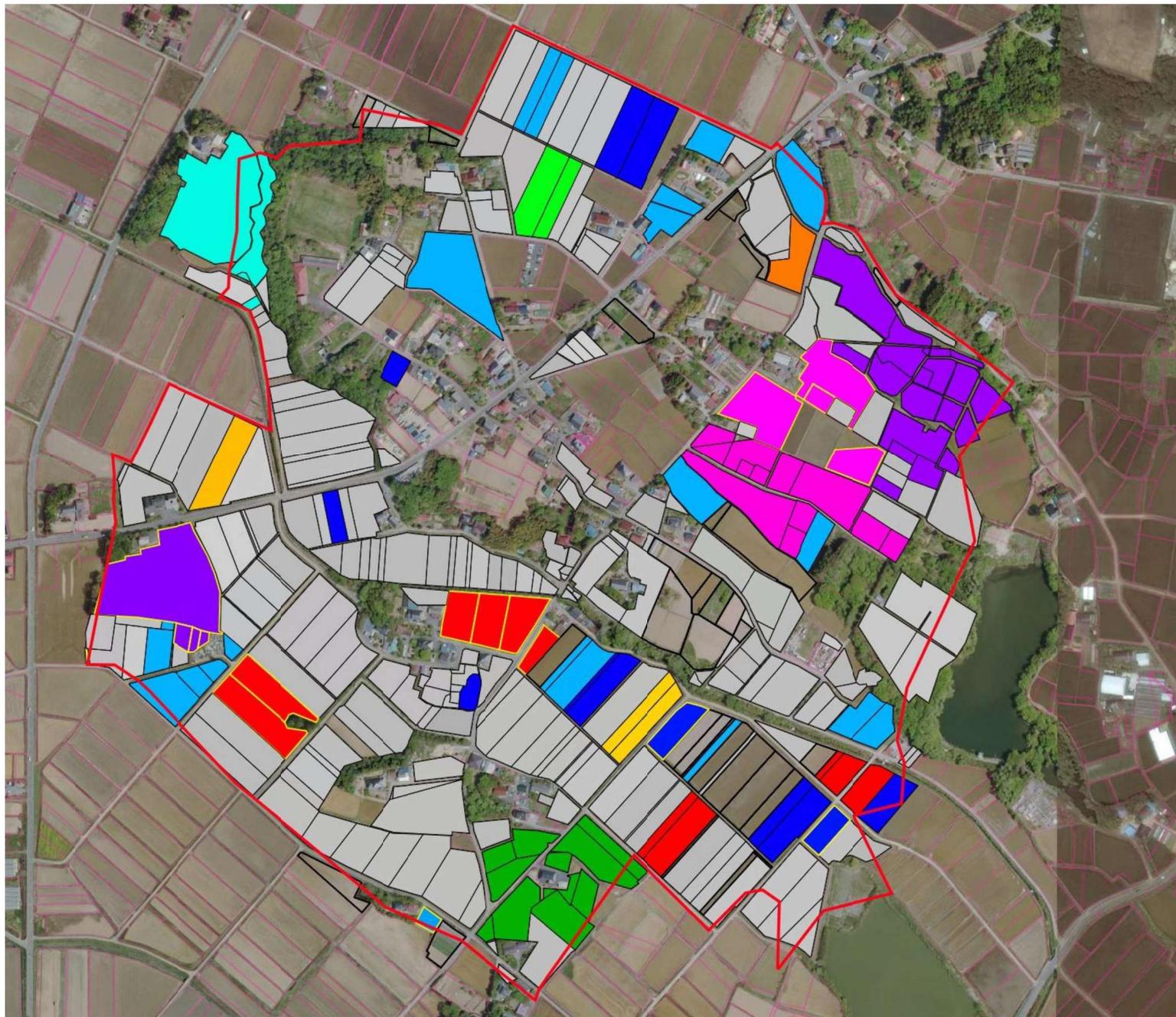


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0108	大槻町	【集落】大槻町_007_下大谷	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0109	大槻町	【集落】大槻町_008_滑河内	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネット
においては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0110	大槻町	【集落】大槻町_009_大橋	2026/1/30



個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

- Red
- Magenta
- Purple
- Blue
- Cyan
- Green
- Yellow
- Orange

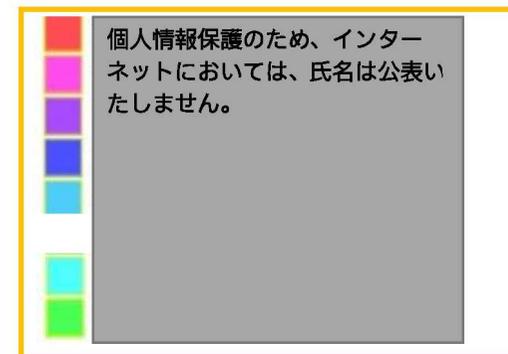
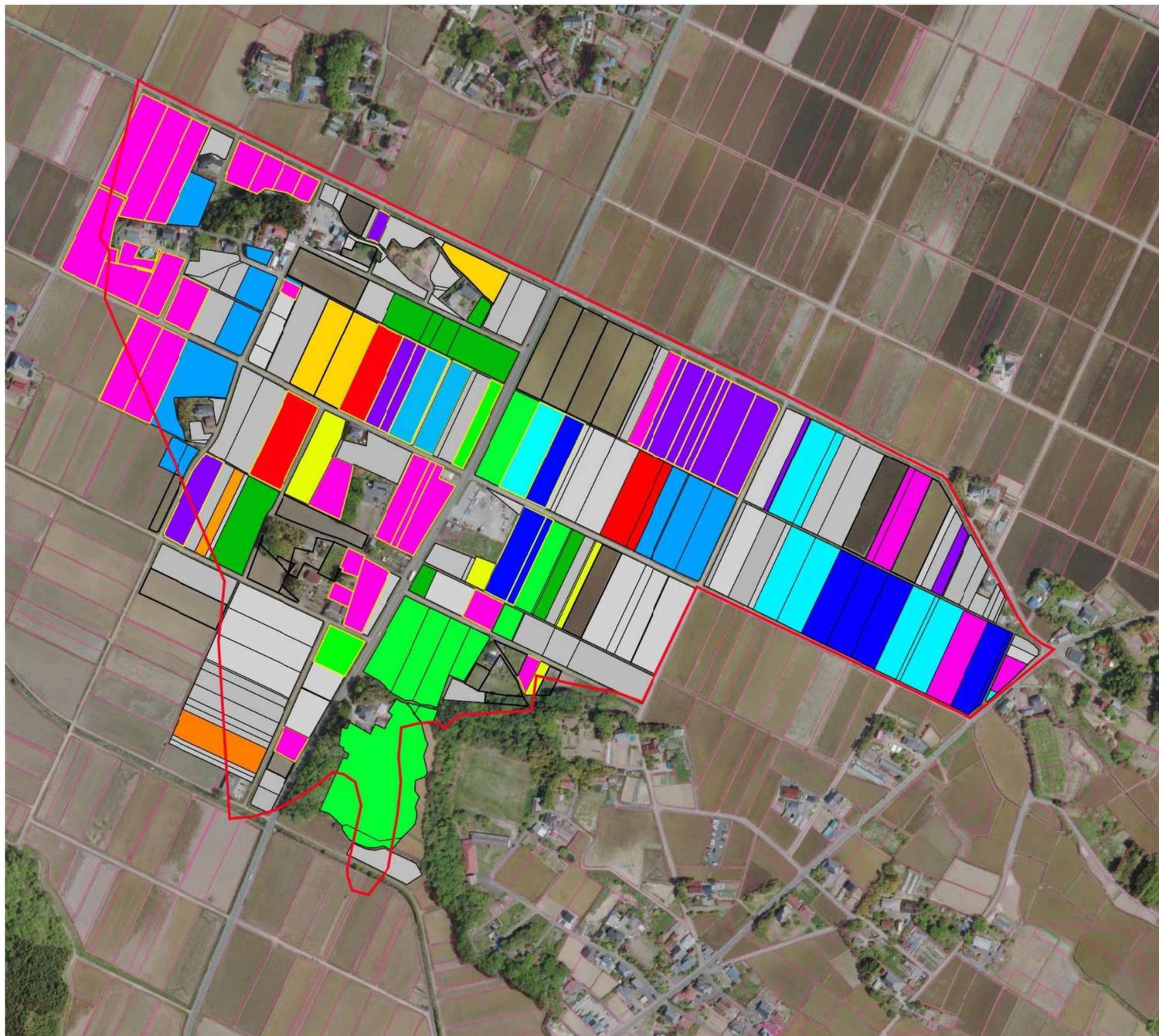
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

- Red
- Magenta

Grey 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0111	大槻町	【集落】大槻町_010_向山	2026/1/30



■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

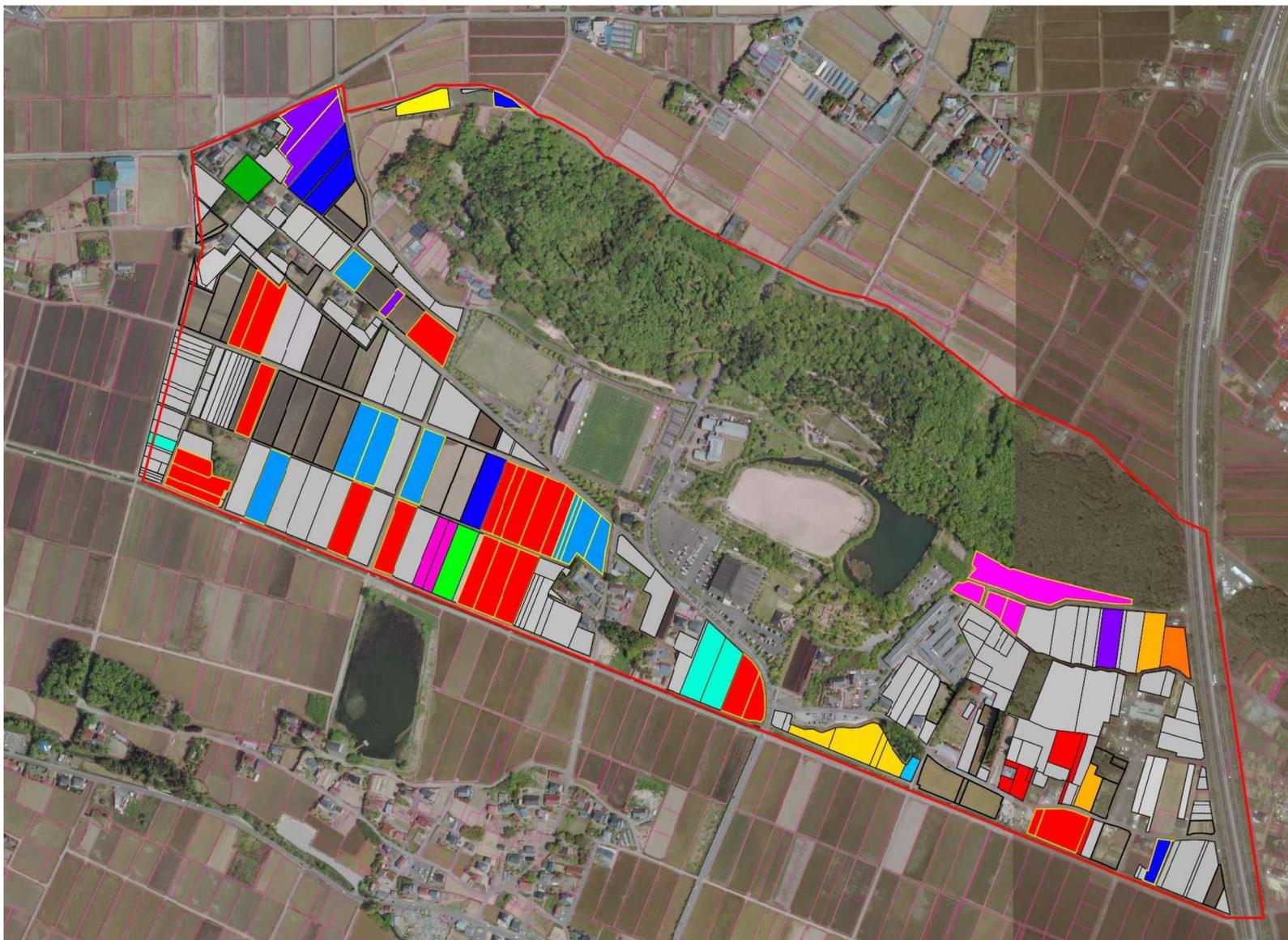
地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0112	大槻町	【集落】大槻町_011_矢地内	2026/1/30



□ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0113	大槻町	【集落】大槻町_012_横山	2026/1/30



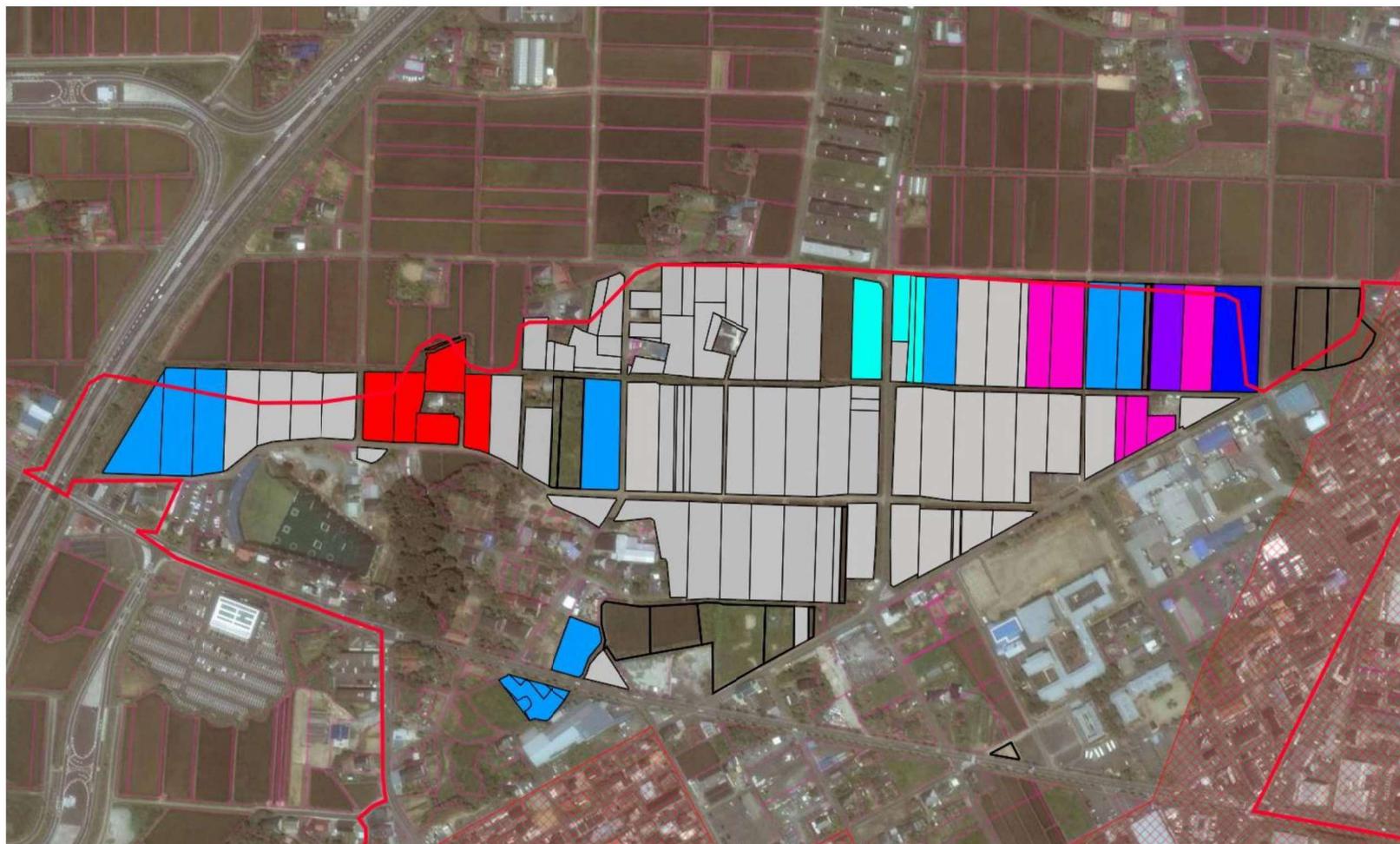
個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0114	大槻町	【集落】大槻町_014_福楽沢	2026/1/30

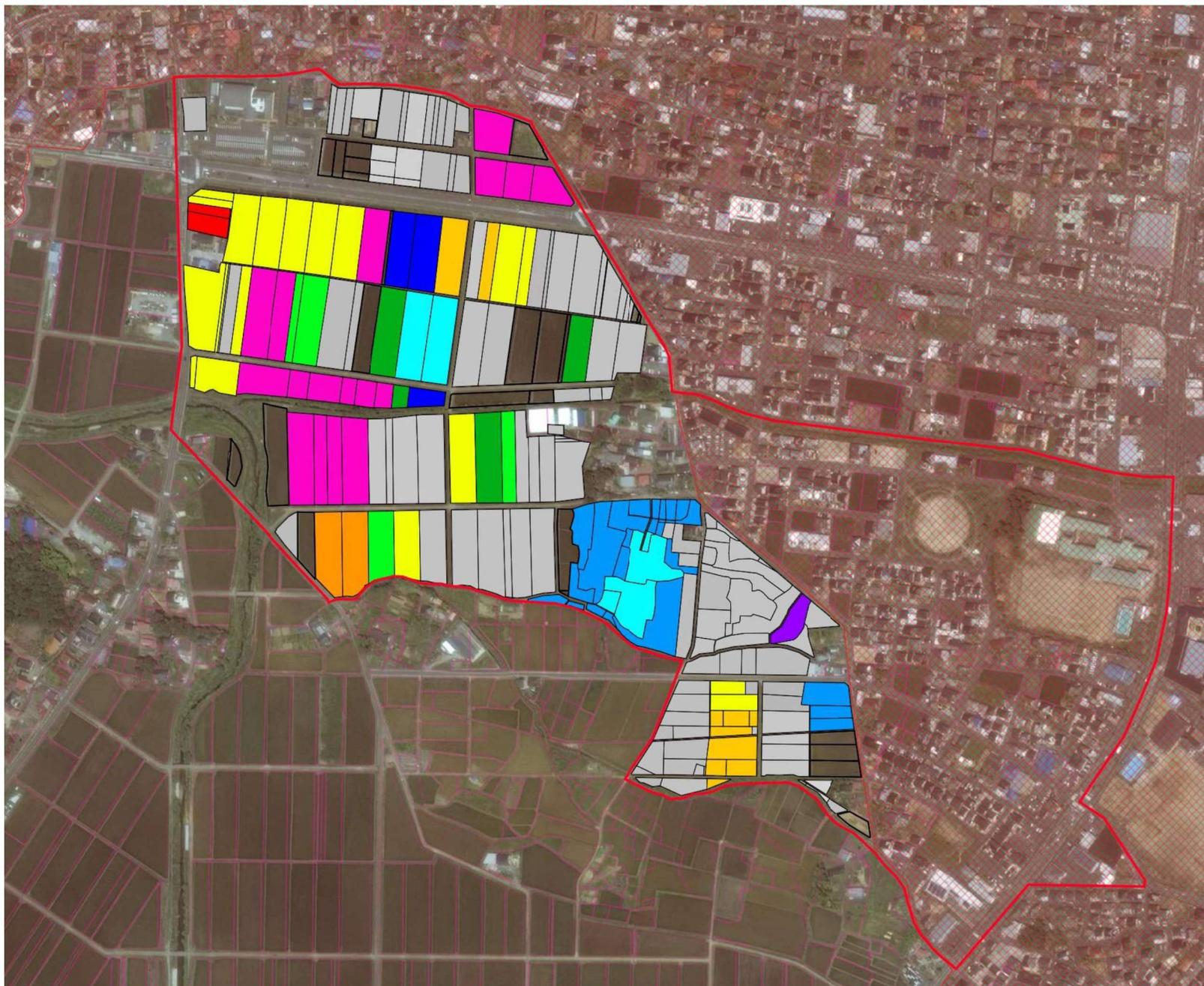


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

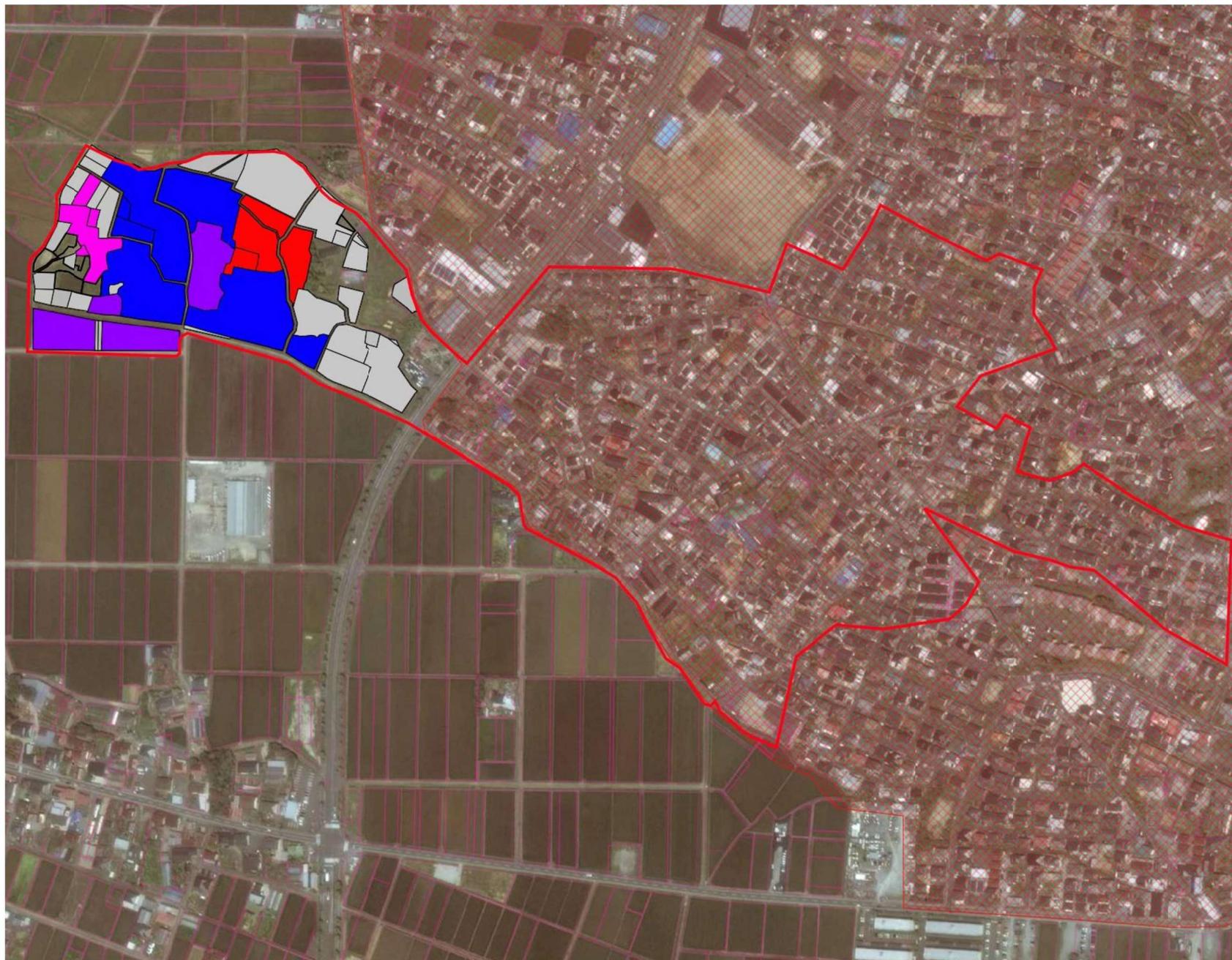
地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0115	大槻町	【集落】大槻町_019_清水内	2026/1/30



■ 上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0116	大槻町	【集落】大槻町_020_室ノ木	2026/1/30

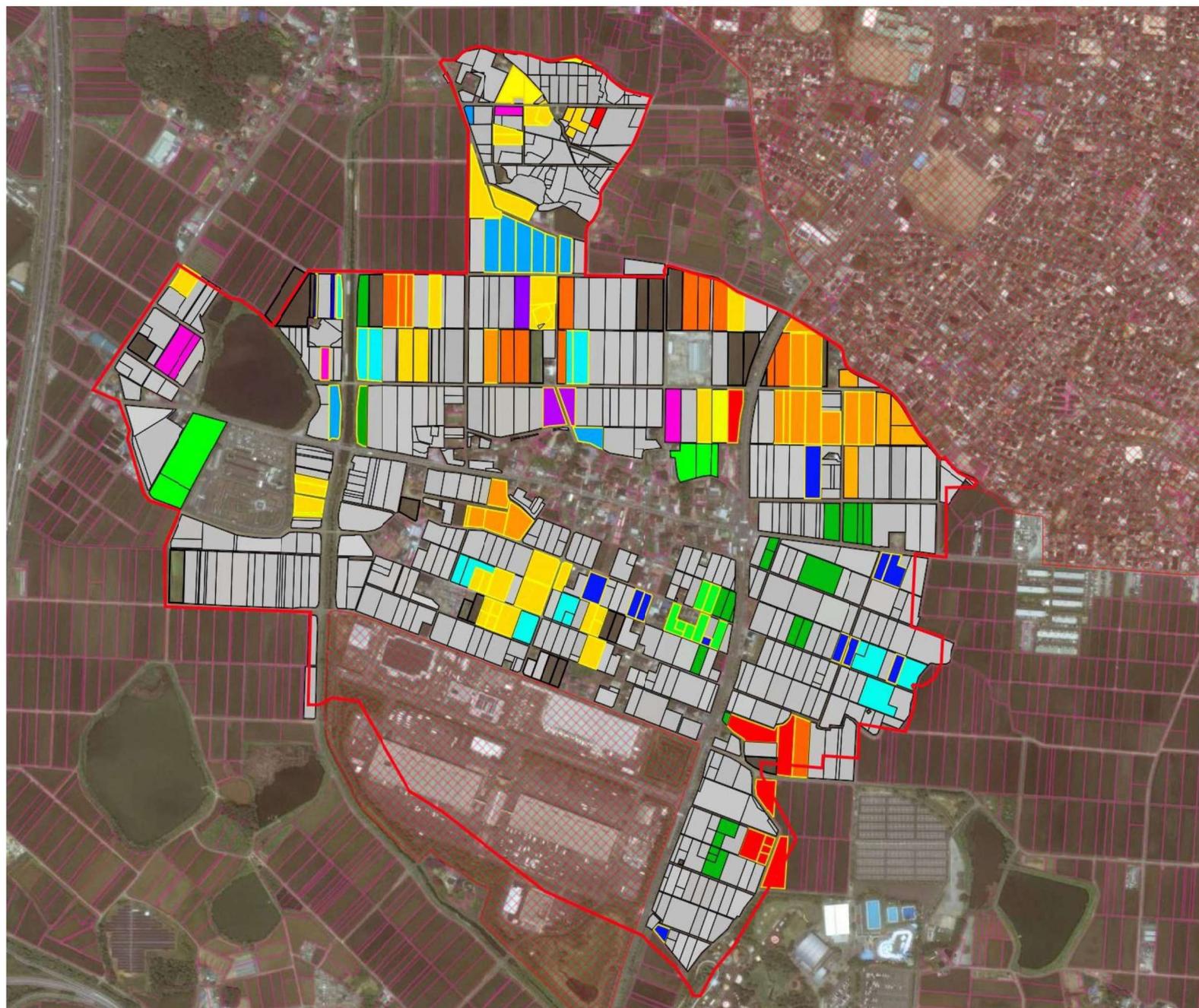


個人情報保護のため、インターネットにおいては、氏名は公表いたしません。

上記以外の耕作者の方

※着色の無い農地は今後検討

地図番号	地域計画名	目標地図名	最終更新日
0117	大槻町	【集落】大槻町_024_太田	2026/1/30



■ 上記以外の耕作者の方
 ※着色の無い農地は今後検討